

2024年3月期 通期 決算説明 & 2026中期経営計画説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P.3
- 2) 営業利益の増減要因 … P.4
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.5

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.7
- 2) 新紙幣への対応について … P.13
- 3) 2024年3月期 配当について … P.14

3 2026中期経営計画

- 1) 2023中期経営計画 総括 … P.16
- 2) 2026中期経営計画 … P.23
 - ・位置付け・コンセプト … P.24
 - ・財務目標 … P.25
 - ・企業価値向上に向けて … P.27
 - ・基本方針／重点実施事項 … P.28
 - ・海外事業戦略 … P.34
 - ・国内事業戦略 … P.38
 - ・資本財務戦略 … P.43



4 2025年3月期 業績予想

- 1) 2025年3月期 業績予想 … P.45
- 2) セグメント別売上高・営業利益 … P.46
- 3) 海外地域別売上高 … P.47
- 4) 株主還元について … P.48

参考資料

- ・2024年3月期 通期 損益計算書・包括利益計算書 … P.51
- ・貸借対照表 … P.52
- ・キャッシュ・フロー計算書 … P.53
- ・予想比 … P.54
- ・設備投資他 … P.55
- ・2025年3月期 業績予想 … P.56

[説明者]

- ・代表取締役社長 原田 明浩
- ・経営戦略本部長 田中 千也

2024年3月期 通期

1

連結業績の概要

「2024年3月期 通期 連結業績」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

連結業績概要 前期比

売上高

生産の正常化、及び新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業により、製品・保守売上高ともに増加

営業利益

国内外における売上高の増加、及び半導体等の部材価格高騰の影響緩和により大幅な増益

※売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに過去最高

為替の影響：売上高+157億円 / 営業利益+10億円

(百万円)	通期						前期比
	2022年3月期	売上高比率	2023年3月期	売上高比率	2024年3月期	売上高比率	
売上高	226,562	100.0%	255,857	100.0%	372,478	100.0%	+116,621 +45.6%
保守売上高	83,894	37.0%	100,793	39.4%	140,633	37.8%	+39,840 +39.5%
営業利益	10,195	4.5%	522	0.2%	51,276	13.8%	+50,754 +9,723.0%
経常利益	10,404	4.6%	-2,720	-1.1%	48,438	13.0%	+51,158 -
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,410	2.8%	-9,538	-3.7%	29,674	8.0%	+39,212 -
※ EBITDA	27,505	12.1%	18,988	7.4%	72,217	19.4%	+53,229 280.3%
為替 レート	ドル	112 円	135 円	145 円			
	ユーロ	131 円	141 円	157 円			

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

3

「2024年3月期 通期 連結業績の概要」

売上高、利益ともに過去最高

・売上高 3,724億7,800万円 (前期比 +1,166億2,100万円)

・営業利益 512億7,600万円 (前期比 +507億5,400万円)

・経常利益 484億3,800万円 (前期比 +511億5,800万円)

・親会社株主に帰属する当期純利益 296億7,400万円(前期比+392億1,200万円)

(売上高 増減要因)

生産の正常化、及び国内の新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業により、前期比45.6%増加

(営業利益 増減要因)

売上高の増加、及び半導体等の部材価格高騰の影響が緩和し、大幅な増益

(為替の影響)

・売上高 +157億円

・営業利益 +10億円

営業利益 増減要因

単位：百万円

● 売上高増加の効果

- ・生産影響の緩和、及び新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業により増加

● 原価率改善の効果

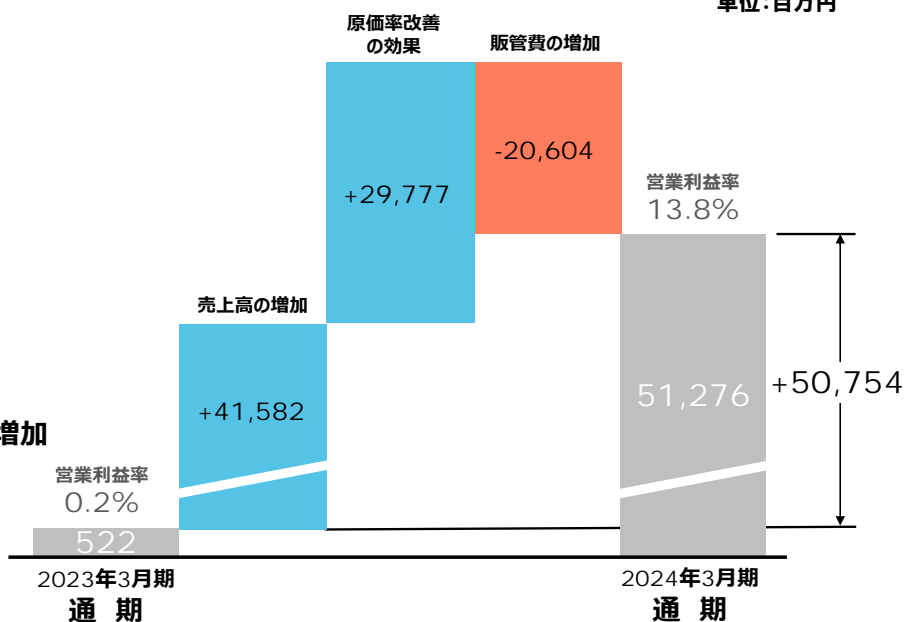
- ・プロダクトミックスの改善
- ・部材価格高騰の影響緩和と価格転嫁

● 販管費増加の影響

- ・円安による海外関係会社のコスト増加
- ・新紙幣発行対応に伴う物流コスト等の経費増加

● 為替の影響

- ・為替の影響による増減：+10億円
- ※為替影響は「売上高の増加」「原価率改善の効果」「販管費の増加」の各項目に振り分けられている



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

4

「営業利益の増減要因」

(増益要因)

- ・売上高の増加による効果 415億8,200万円
- ・原価率の改善による効果 297億7,700万円

(減益要因)

- ・販管費の増加 206億400万円

主な要因：円安影響による海外のコスト増や新紙幣発行への対応に伴う物流コストなどの経費が増加

- ・営業利益 512億7,600万円 (前期比 +507億5,400万円)

セグメント別売上高・営業利益



Confidence Enabled
人と社会の新たな価値の創造へ

(百万円)	売上高				営業利益			
	通期			前期比	通期			前期比
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
海外市場	127,803	155,902	185,239	+29,337 +18.8 %	4,781	436	6,645	+6,209 +1,424.1 %
金融市場	36,079	36,248	78,422	+42,174 +116.3 %	4,644	152	24,179	+24,027 +15,807.2 %
流通・交通市場	47,859	45,595	74,774	+29,179 +64.0 %	2,543	-571	10,593	+11,164 - %
遊技市場	12,131	15,139	28,201	+13,062 +86.3 %	-366	1,624	10,030	+8,406 +517.6 %
その他	2,688	2,971	5,840	+2,869 +96.6 %	-1,408	-1,118	-173	+945 - %
合計	226,562	255,857	372,478	+116,621 +45.6 %	10,195	522	51,276	+50,754 +9,723.0 %

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

5

「セグメントごとの売上高・営業利益の増減」

(海外市場)

金融市場及びリテール市場ともに、人件費高騰や人手不足対応に伴うセルフ化ニーズが継続しており、製品・サービスの需要は堅調。

加えて、半導体等の部品調達難が大幅に緩和し生産が正常化したこともあり、主要製品の販売が増加

(国内市場)

全市場において、製品・サービスの需要は好調に推移

金融市場及び流通・交通市場では、2024年7月3日に予定されている新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業により、製品売上、保守売上ともに増加。

遊技市場では、スマート遊技機向けカードシステムの販売が引き続き好調に推移

全てのセグメントで増収増益

2024年3月期 通期

2

連結業績の詳細

海外市場

百万円	通期			前年同期比
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
売上高	127,803	155,902	185,239	+29,337 +18.8 %
売上高構成比率	56.4%	60.9%	49.7%	-11.2 pt
営業利益	4,781	436	6,645	+6,209 +1,424.1 %
営業利益率	3.7 %	0.3 %	3.6 %	+3.3 pt

業績のポイント

【売上高】

- ・金融市場：米州で主要製品であるTCR※1の販売は好調
- ・リテール市場：欧米の大手リテーラー向けCIシリーズ※2の販売は好調
アクレック社の販売は好調

※1 TCR：紙幣入出金機 ※2 CIシリーズ：紙幣硬貨入出金機CI/CI-Xシリーズ
(当社製品名は、RBG, GLR) CI-Xシリーズは60ヶ国以上の通貨に対応可能

【営業利益】

- ・部材価格高騰の影響緩和等により増益

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・新たな現金インフラを活用したソリューションなど

プロダクト



サービス



セグメントの概要

海外の金融機関、大手リテーラー、飲食店、警備輸送会社等への販売・保守

「海外市場」

・売上高 1,852億3,900万円（前期比 +293億3,700万円）

・営業利益 66億4,500万円（前期比 +62億900万円）

（売上高）

RBGやGLRを始めとする金融市場向け「TCR」、及びリテール市場のフロント・バックオフィス向け「CI シリーズ」の販売は好調

また、保守売上の増加や円安に加え、アクレック社の売上増加により増収

（営業利益）

売上高の増加や部材価格高騰の影響緩和により大幅に改善

地域別売上高

(百万円)	通期			前期比	米ドルベース	
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期			
米州	44,684	69,336	89,419	+20,083 +29.0 %	+20.8%	米州 【金融】TCRの販売は大幅に増加 【リテール】CIシリーズの販売は増加 【アクレック】売上高は増加 【レボリューション】売上高は前期並み
内 Acrelec	2,716	3,050	4,932	+1,882 +61.7 %	+51.5%	
内 Revolution	3,774	17,758	17,994	+236 +1.3 %	-5.1%	
欧州	68,967	70,758	79,489	+8,731 +12.3 %	+5.2%	欧州 【金融】TCRの販売は減少 【リテール】CIシリーズの販売は増加 【アクレック】売上高は増加
内 Acrelec	16,479	18,663	23,369	+4,706 +25.2 %	+17.3%	
アジア	14,151	15,806	16,330	+524 +3.3 %	-3.2%	アジア 【金融】紙幣整理機の販売は増加 【リテール】CIシリーズの販売は増加 【アクレック】売上高は増加
内 Acrelec	614	751	1,615	+864 +115.0 %	+101.4%	
合計	127,803	155,902	185,239	+29,337 +18.8 %	+11.3%	
内 Acrelec	19,809	22,464	29,916	+7,452 +33.2 %	+24.7%	
内 Revolution	3,774	17,758	17,994	+236 +1.3 %	-5.1%	

※2022年3月期 第3四半期よりレボリューション社を連結業績に組み入れ(米州)
 ※2023年3月期より以下の通り開示内容を変更しています。
 ①地域別売上高の中にOEM売上高を含めています。(過去2年遡及修正)
 ②アジアの中に中国を含めています。

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

8

「海外の地域別売上高」

(米州)

主要製品である金融市場向けTCR、及び、リテール市場向けCIシリーズの販売は好調
 加えて円安や保守売上の増加により大幅な増収
 レボリューション社の売上は前期並みでしたが、アクレック社の売上は前期から大幅に増加

(欧州)

主要製品である金融市場向けTCRの販売は低調。リテール市場向けCIシリーズの販売は好調
 アクレック社の売上増加に加え、円安や保守売上の増加により地域全体で増収

(アジア)

金融市場向け「紙幣整理機」の販売は増加。リテール市場向けCIシリーズの販売は好調。
 アクレック社の売上も増加したが、地域全体では前年同期並み

地域別売上高



百万円	通期			前年同期比	
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		
売上高	19,809	22,464	29,916	+7,452	
米州	2,716 14%	3,050 14%	4,932 16%	+1,882	
欧州	16,479 83%	18,663 83%	23,369 78%	+4,706	
アジア	614 3%	751 3%	1,615 5%	+864	
営業利益	582	-1,326	1,093	+2,419	
	のれん償却後	-177	-2,122	307	+2,429

米州 米国の大手F&Bグループとの大口商談は順調に進行



欧州 ドイツのガソリンスタンドや、英国のファストフードチェーン向けにKIOSKの販売が好調

アジア フィリピン、台湾、タイ等での販売が増加
日本国内ではKIOSKの販売が増加



※2022年3月期 第3四半期(2021年12月)より連結業績に組み入れ

百万円	通期			前年同期比	
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		
売上高	3,774	17,758	17,994	+236	
米州地域連結売上高に占める比率	8%	26%	20%	-6 pt	
営業利益	252	-692	-2,706	-2,014	
	のれん償却後	-143	-1,220	-4,046	-2,826

<シナジー>

- ・バックオフィス向け紙幣・硬貨入出金機の販売をグローリー製品に切替
- ・販売・保守事業や生産拠点の統合を推進

※2024年4月1日付で、当社の米国連結子会社である
Glory Global Solutions Inc.がRevolutionグループを吸収合併
⇒経営管理体制を一元化し、米州における事業運営の効率化を図る

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

9

「アクレック社及びレボリューション社の業績」

(アクレック社)

・売上高 **299億1,600万円(前期比+74億5,200万円)**

地域別では、米州では米国でセルフサービスKIOSKの販売が順調に推移。大手F&B向けの大口商談も活発化。

欧州では、ドイツや英国での販売が増加。英国ではファストフードチェーン等への販売が順調。ドイツでは大手ガソリンスタンド向けにKIOSKを販売するなど、飲食以外にも市場が拡大

アジアでは、フィリピン、台湾、タイ、日本などの大手ファストフードチェーン向けにセルフサービスKIOSKの販売が進む

(レボリューション社)

・売上高 **179億9,400万円(前期比プラス2億3,600万円)**

販売については、レボリューション社の主要顧客向け紙幣・硬貨入出金機をグローリー製品に置き換え、GGSアメリカでの販売への切り替えが進む

2024年4月1日付で当社の米国連結子会社であるGlory Global Solutions Inc.がレボリューション社を吸収合併。米国市場における事業運営の効率化を図り、米州地域全体での業績向上に努める

金融市場

百万円	通期			前年同期比
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
売上高	36,079	36,248	78,422	+42,174 +116.3 %
売上高 構成比率	15.9%	14.2%	21.1%	+6.9 pt
営業利益	4,644	152	24,179	+24,027 +15,807.2 %
営業利益率	17.9 %	0.4 %	30.8 %	+30.4 pt

期間	売上高	営業利益
2022年4Q	10,243	18
2023年1Q	6,463	1,210
2023年2Q	8,899	-2,425
2023年3Q	8,374	417
2023年4Q	12,512	950
2024年1Q	9,487	1,243
2024年2Q	20,569	7,098
2024年3Q	25,564	10,680
2024年4Q	22,802	5,158

業績のポイント

【売上高】

- ・主要製品のオープン出納システムは前期比+179.7%
- ・窓口用紙幣硬貨入出金機は前期比+161.0%
- ・新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上も増加

【営業利益】

- ・プロダクトミックスの改善、及び売上高増加により大幅な増益

提供する価値

自動化・省力化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・次世代店舗ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション など

プロダクト



サービス



セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

10

「金融市場」

・売上高 784億2,200万円 (前期比 +421億7,400万円)

・営業利益 241億7,900万円 (前期比 +240億2,700万円)

(売上高)

新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業により、主要製品である「オープン出納システム」の売上は前期比プラス179.7%、「窓口用紙幣硬貨入出金機」においても前期比プラス161.0%と伸長
保守売上高も増加

(営業利益)

プロダクトミックスの改善、及び改造作業に伴う増収等により、大幅な増益

流通・交通市場



Confidence Enabled
人と社員の両方の成長が未来へ

百万円	通期			前年同期比
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
売上高	47,859	45,595	74,774	+29,179 +64.0 %
売上高構成比率	21.1%	17.8%	20.1%	+2.3 pt
営業利益	2,543	-571	10,593	+11,164 - %
営業利益率	5.3 %	- %	14.2 %	- pt

期間	売上高	営業利益
2022年3月期	11,895	-180
2022年4Q	9,936	-206
2023年1Q	10,828	-378
2023年2Q	11,003	-11
2023年3Q	13,828	24
2023年4Q	13,414	765
2024年1Q	18,023	2,829
2024年2Q	20,570	3,549
2024年3Q	22,767	3,450

業績のポイント

【売上高】

- ・主要製品のレジつり銭機は前期比+77.3%、警備輸送会社向け売上入金機は前期比+189.6%
- ・新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上も増加

【営業利益】

- ・製品売上及び保守売上の増加により増益

提供する価値

自動化・省カ化ソリューション

- ・コンタクトレス・セルフ化ソリューション
- ・現金管理ソリューション
- ・電子決済ソリューション
- ・生体・画像認識を活用したソリューション

プロダクト



サービス



セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、公共交通機関、病院自治体等への販売・保守

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

11

「流通・交通市場」

・売上高 747億7,400万円 (前期比 +291億7,900万円)

・営業利益 105億9,300万円 (前期比 +111億6,400万円)

(売上高)

主要製品である「レジつり銭機」の売上は、前期比 +77.3%、警備輸送会社向け「売上入金機」も、前期比 +189.6%と好調

新紙幣発行に伴う改造作業により、保守売上高も増加

(営業利益)

製品売上及び保守売上の増加等により増益

遊技市場

百万円	通期			前年同期比
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
売上高	12,131	15,139	28,201	+13,062 +86.3 %
売上高構成比率	5.4%	5.9%	7.6%	+1.7 pt
営業利益	-366	1,624	10,030	+8,406 +517.6 %
営業利益率	- %	10.7 %	35.6 %	+24.8 pt

業績のポイント

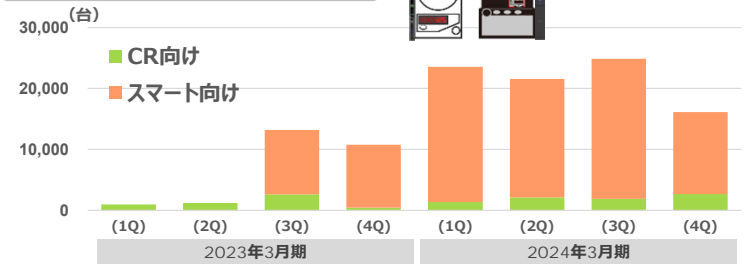
【売上高】

・主要製品の「カードシステム」の販売は、スマート遊技機向けのユニットが好調

【営業利益】

・スマート遊技機向けユニットの販売増加等により大幅な増益

当社プリペイドカード ユニット販売状況



セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

「遊技市場」

・売上高 282億100万円 (前期比 +130億6,200万円)

・営業利益 100億3,000万円 (前期比 +84億600万円)

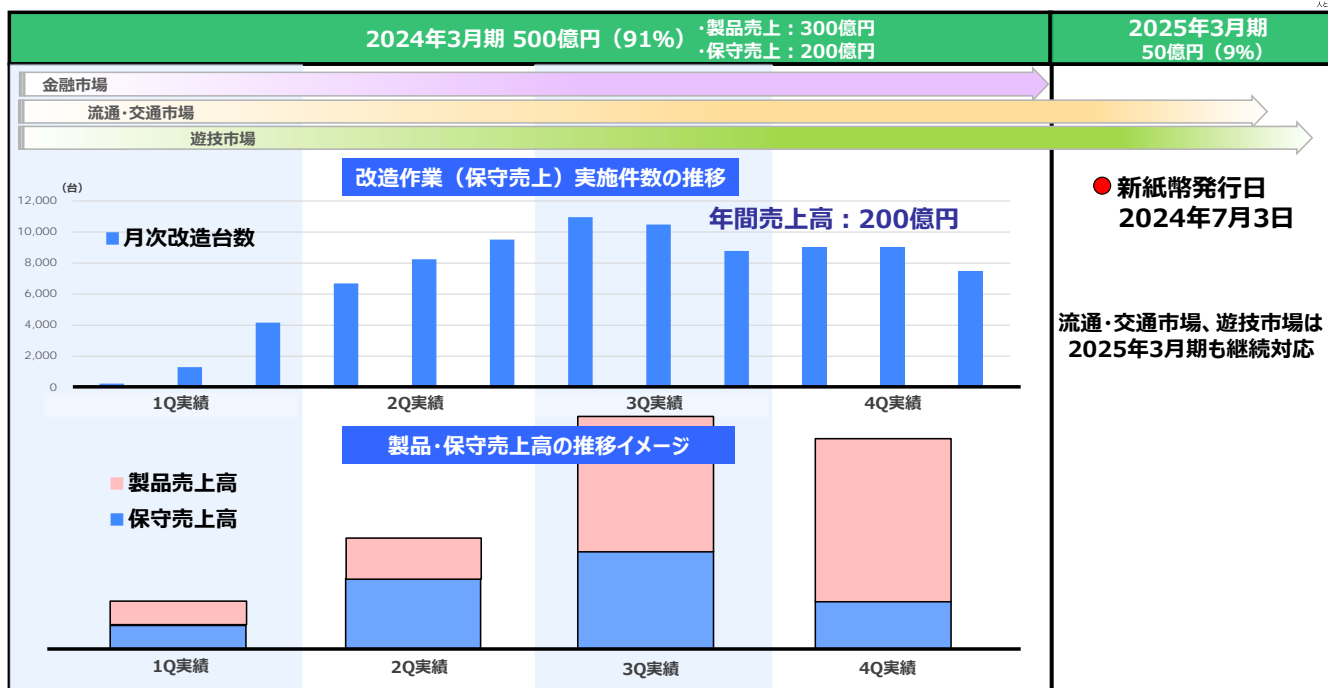
(売上高)

主要製品である「カードシステム」の売上は、スマート遊技機向けカードユニットの販売が好調に推移し、大幅な増収

(営業利益)

売上高の増加、及び構造改革の効果等により大幅に増加

新紙幣発行への対応



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

13

「新紙幣発行への対応」

2024年7月3日の新紙幣発行に向けた製品更新や改造への対応に取り組んだ結果、

2023年度は全体の対応予定件数のうち、約90%が完了

業績への影響は、製品売上高は300億円、保守売上高は200億円、トータルで500億円

2024年度は、流通・交通市場、遊技市場において対応を継続し、新紙幣発行への取組みを完遂

2024年3月期 配当ついて

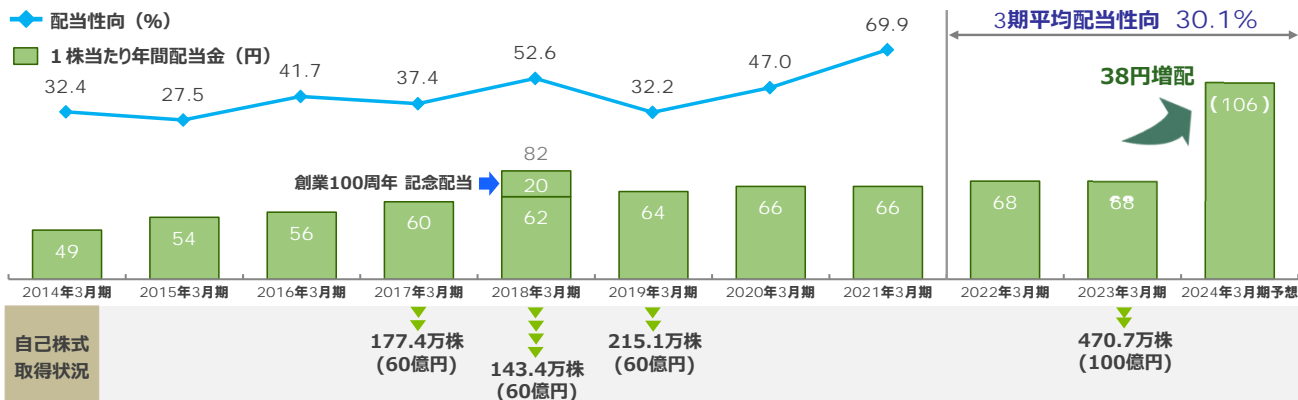
利益配分に関する基本方針

のれん償却前連結配当性向30%以上 (2023中期経営計画期間平均*)

*2023中期経営計画期間中の累計配当総額÷累計のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益

2024年3月期 年間配当 (予定) **106円**

年間配当金・配当性向・自己株式取得の推移



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

14

「株主還元」

『2023中期経営計画』期間の配当方針は、当該3期の平均のれん償却前連結配当性向30%以上当方針に基づき、今期の年間配当を従来予想の100円から6円増配、前年度比では38円増配となる106円に修正

この結果、3期平均のれん償却前連結配当性向は30.1%となる見通し



3 グローリーグループ
2026中期経営計画
(2024年度 ~ 2026年度)

「2026中期経営計画の概要」

説明者：代表取締役社長 原田 明浩

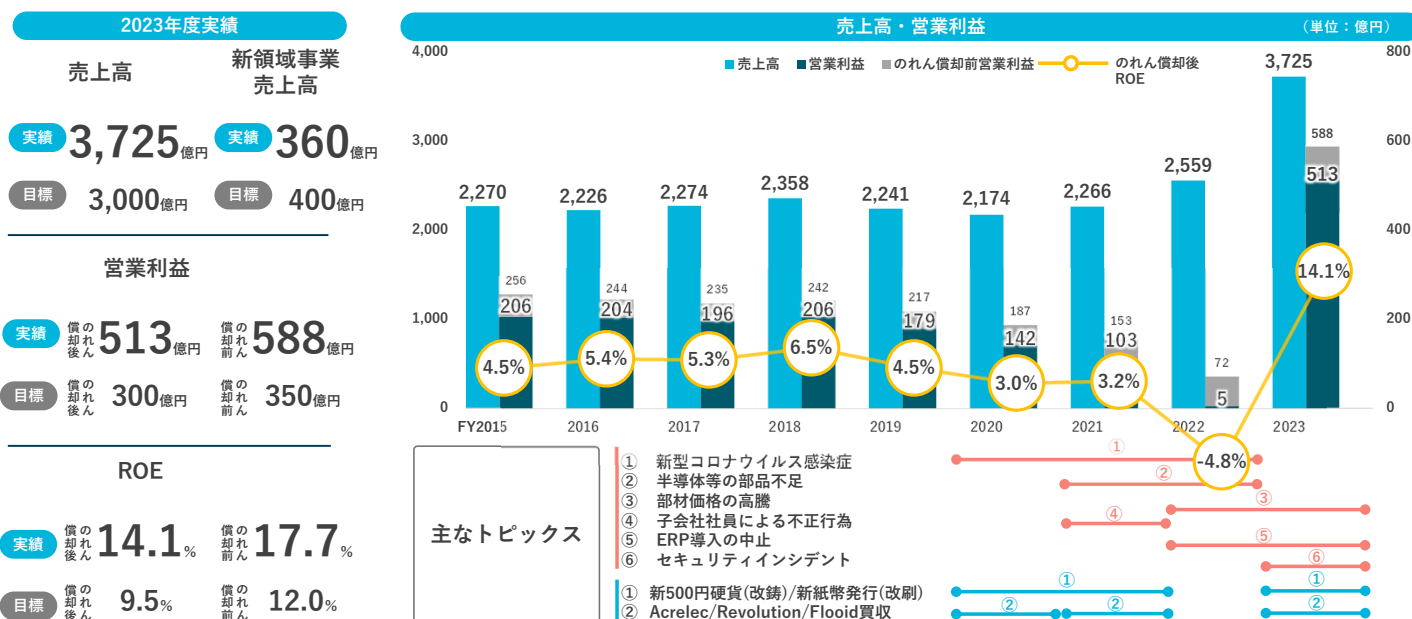
2023中期経営計画 総括

(2021年度 ~ 2023年度)

「2023中期経営計画」の総括

2023中期経営計画 総括（業績）

2021・2022年度は大きく利益が落ち込んだが、
2023年度は売上高、営業利益、ROEともに目標を大きく上回って達成



「2023中期経営計画」総括（業績）

「2023中期経営計画」期間中の社内外環境

- ・新型コロナウイルスの蔓延
- ・半導体を中心とした部品入手難、部材価格高騰
- ・セキュリティインシデントの発生

利益が大きく落ち込み、2022年度には上場以来初の最終赤字

最終年度となる2023年度には、新紙幣発行による需要の増加などもありV字回復を遂げ、過去最高の業績を達成。

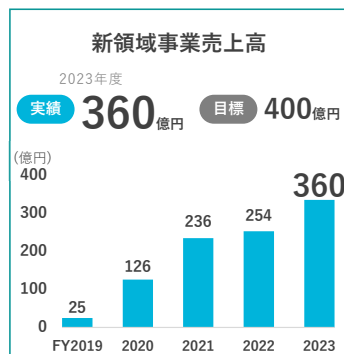
売上高、営業利益、ROEの3つの指標において目標を大幅に上回る

2023中期経営計画 総括（事業）

1 次世代を切り拓く事業開発の加速

- 飲食・リテール・金融の3市場を中心に戦略投資、業務提携を実施
コア事業の顧客チャネルが活用できる領域で事業開発を加速
- 新領域事業売上高は未達となったが、有望な新事業としてAcrelecを中心としたKIOSK関連事業およびDMP*事業を発掘

*DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）とは、収集し蓄積されたオンラインデータや、リアル店舗に来店された消費者の行動履歴等のオフラインデータを管理し、広告配信のアクションプラン等に役立てるデータビジネスを行うプラットフォームのこと



2020中期経営計画

2023中期経営計画

FY2021

FY2022

FY2023

ACRELEC
SHOWCASE GIG
*FY2022追加出資

REDISH

飲食

Acrelec、SHOWCASE GIGとの連携により
KIOSK関連事業を中心としたビジネスを展開

AdInte
*FY2021追加出資

TTG
Revolution
Retail Systems

リテール

リテールソリューションを補完する企業買収、
提携を実施し、ソフトウェアソリューション等を
拡大

TIMELEAP
OneBanx

Clip

金融

店舗のセルフ化を推進するソリューションの開
発やシェアードサービスを展開

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

18

「2023中期経営計画」総括（事業）

・方針1の「次世代を切り拓く事業開発の加速」

新事業の創出を第一の目標に取り組みを進め、特に飲食市場、リテール市場において、コア事業である通貨処理事業と親和性が高く、既存の顧客チャネルが活用できる事業領域で戦略投資や資本業務提携を行う

この結果、目標であった売上高400億円には届かなかったものの、360億円の新事業領域での売上を計上
有望な新領域事業として、アクレック社のKIOSKを中心とした次世代飲食事業やデータビジネスを発掘
した事は当社にとって大きな一歩となった

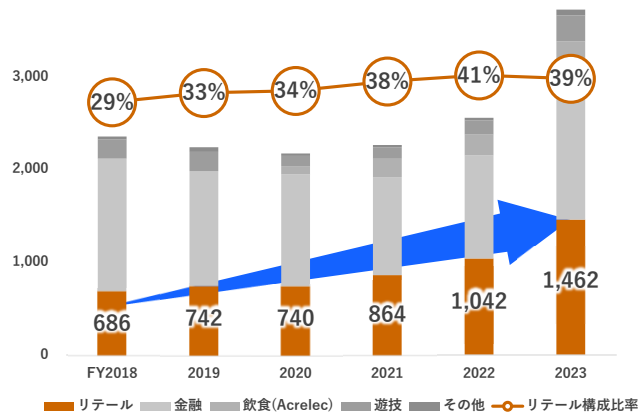
2023中期経営計画 総括（事業）

II コア事業の革新による収益の最大化

グローバルトップリテーラーとの契約獲得など、リテール市場が拡大
市場の拡大に伴いメンテナンス契約を獲得し安定的な収益源を確保

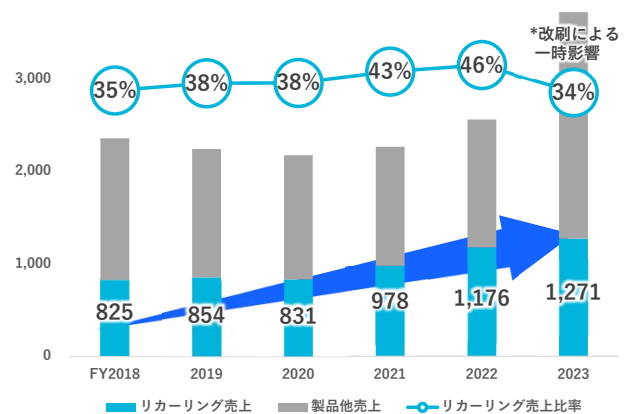
リテール売上高*（国内・海外）

(億円) *流通・交通市場売上高および海外リテール市場売上高の合計値
(Acrelecは除く)



リカーリング売上高（国内・海外）

(億円)



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

19

「2023中期経営計画」総括（事業）

・方針2「コア事業の革新による収益の最大化」

リテール売上と保守などのリカーリング売上の拡大に注力

リテール市場は国内外ともに成長分野と位置付けており、セルフ型のレジ釣銭機などの売上が右肩上がり
で伸長

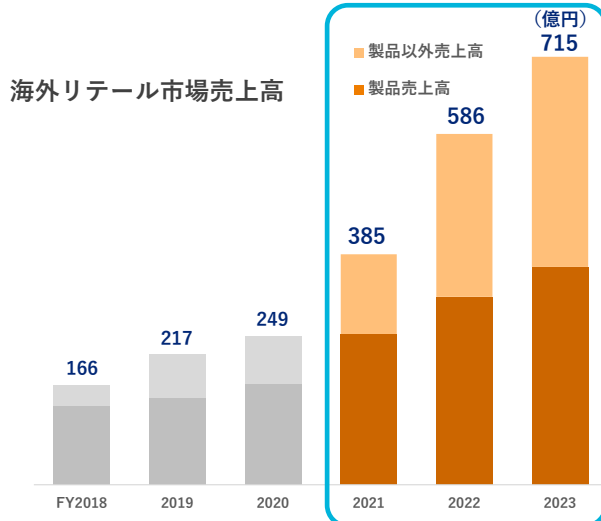
また、市場の拡大に伴い、メンテナンス契約もあわせて獲得した事により保守を中心としたリカーリング売上も
増加。安定的な収益源の確保につながる

2023中期経営計画 総括（事業）

II コア事業の革新による収益の最大化

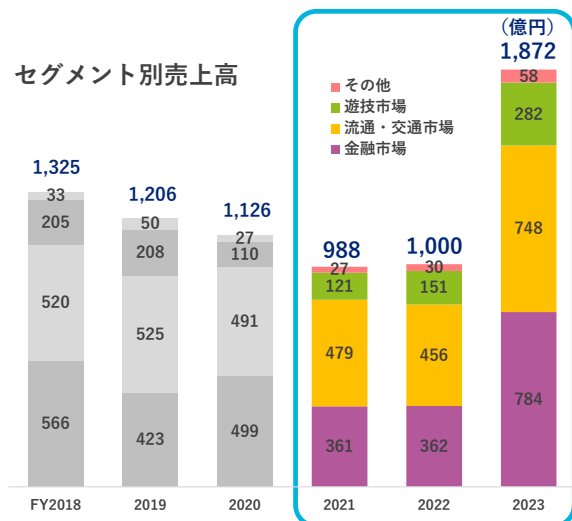
海外事業

省人化ニーズを捉えグローバルトップリテラーとの契約を獲得するなどリテール市場が拡大



国内事業

2023年度は新紙幣対応と遊技事業が収益に大きく貢献 売上高は過去最高



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

20

「2023中期経営計画」総括（事業）

（海外）

リテール市場の伸びがより顕著で、レボリューション社の買収などもあり、2023中計期間中に売上は2020年度の約3倍。特にグローバルトップリテラーとの間で当社の主力製品であるCIシリーズの大型契約を獲得するなど、市場が大きく拡大

（国内）

2004年以来20年ぶりとなる新紙幣発行への対応や、スマート遊技機の導入でカードユニットの販売が増加した遊技市場の収益拡大により、過去最高の売上高を達成

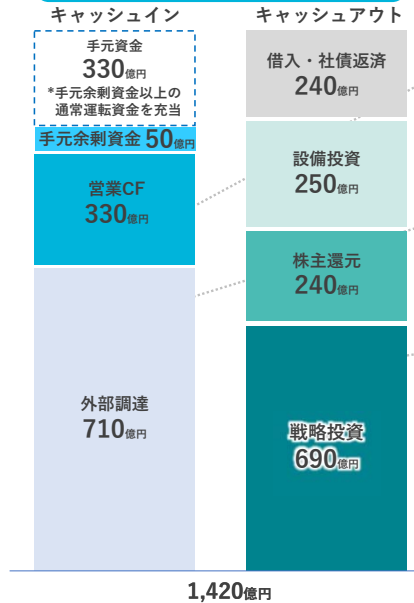
2023中期経営計画 総括（キャッシュ・アロケーション）

営業CFの減少を手元資金と外部調達で補填し、計画的な株主還元と戦略的な投資を実行

キャッシュアロケーション想定



キャッシュアロケーション実績



計画との差異と主な要因

営業CF ▲370億円

- 新型コロナウイルス感染症、半導体等の部品不足の影響による業績悪化に伴い、営業CFが大きく減少

外部調達 +310億円

- 運転資金・戦略投資の増加および営業CFの減少などにより外部調達が大きく増加

戦略投資 +240億円

- 事業戦略上の必要性を重視し、M&Aや資本業務提携を機動的に実施した結果、戦略投資が大きく増加

Revolution
Retail Systems

flood

OneBanx

SHOWCASE GiG

AdInte

TTG

REIDISH

Clip

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

21

「2023中期経営計画」総括（キャッシュ・アロケーション）

「2023中期経営計画」期間中のキャッシュアロケーションについては、業績悪化により営業キャッシュフローが想定よりも大幅に減少。また、必要運転資金も増加したが、手元資金や外部調達で不足分を補填し、将来の成長を見据えた戦略投資や、100億円の自社株買いを含む株主還元を実施

成 果

課 題

I	次世代を切り拓く 事業開発の加速
II	コア事業の革新による 収益の最大化
III	持続的成長を支える経営基盤の 構築

- ・ 有望な新領域事業の発掘
（KIOSK関連事業、DMP事業）
- ・ リカーリング売上高の拡大による
収益の安定化
- ・ リテール売上高の拡大
- ・ 改刷対応の着実な実行
- ・ ポートフォリオマネジメントの導入
と特定事業の収益改善活動の推進

- ・ 新領域事業の早期収益化
- ・ コア事業の高収益化
- ・ 安定的なサプライチェーンの実現
- ・ サイバーセキュリティの強化

2026中期経営計画で取り組む方針

- ・ これまでの戦略投資を最大限に活用し、飲食・リテール・金融で事業成長を実現
- ・ リスクマネジメント強化による安定経営を実現

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

22

「2023中期経営計画」総括（成果・課題）

「2023中期経営計画」では、有望な新領域事業の発掘やリカーリング売上による収益の安定化、リテール事業の成長、新紙幣発行への責任ある対応などの成果があった一方、今後取り組むべき課題も明確化

事業戦略に関しては、これまで投資してきた新領域事業の早期収益化や改刷後も安定的に成長するためのコア事業の高収益化、経営基盤に関しては、安定的なサプライチェーンの実現、サイバーセキュリティの強化などに継続して取り組む



2026中期経営計画

(2024年度 ~ 2026年度)

「2026中期経営計画」

位置付け・コンセプト

企業理念

私たちは「求める心とみんなの力」を結集し、セキュア（安心・確実）な社会の発展に貢献します



売上高 5,000 億円企業へ

長期ビジョン
目指す姿

人と社会の
「新たな信頼」を創造する
リーディングカンパニーへ

2026

刈取り

GLORY
TRANSFORMATION
2026

2023

育成

コア事業と新領域事業の
クロス成長

2020

種まき

長期ビジョンの
実現に向けた
仕込み

通貨処理機の
パイオニア

現金管理の厳正化と
業務効率化に貢献

世界最高の製品群と
ソフトウェアプラットフォーム*を融合し店舗DXをサポート
*ソフトウェアプラットフォームを以下、「プラットフォーム」と記載

実績

将来

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

24

「位置付け・コンセプト」

(位置づけ)

「2026中期経営計画」期間は、当社が目指す長期ビジョン達成に向けた第3ステップとして、これまで種をまき、育成してきた事業の刈取り時期

(コンセプト)

『GLORY TRANSFORMATION 2026』（変革）

これまで培ってきた世界最高水準の品質を持つ製品群とソフトウェアプラットフォームを融合し、お客様の店舗DXをサポートする企業を目指す

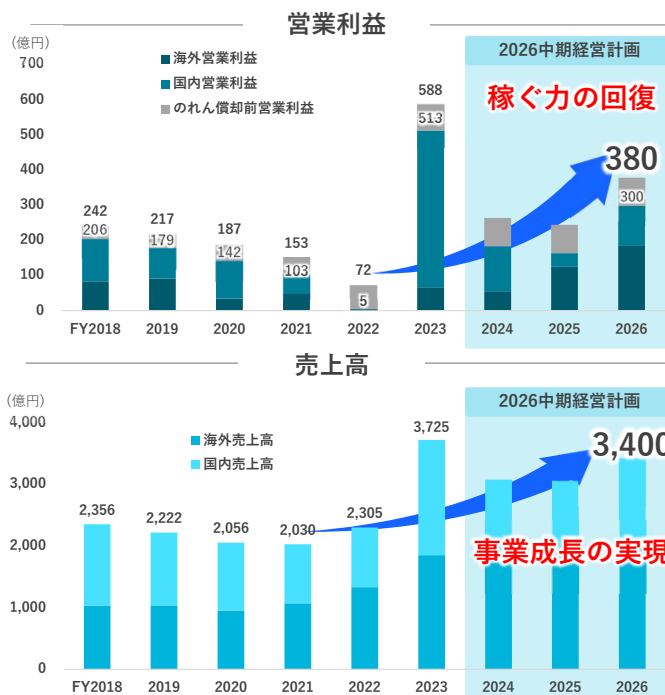
2028長期ビジョンである売上高 5,000 億円企業を目指す

財務目標

2026年度 財務目標

効率性		のれん償却前	のれん償却後
	ROE	10%以上	6%以上
	ROIC	8%以上	5%以上
ROA	5%以上	3%以上	
売上高	営業利益	380億円以上	300億円以上
	売上高	3,400億円以上	
	内 新領域事業 売上高	600億円以上	

想定為替レート 140円/ドル、150円/ユーロ



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

25

「財務目標」

新中計の最終年度となる2026年度、3年後の財務目標

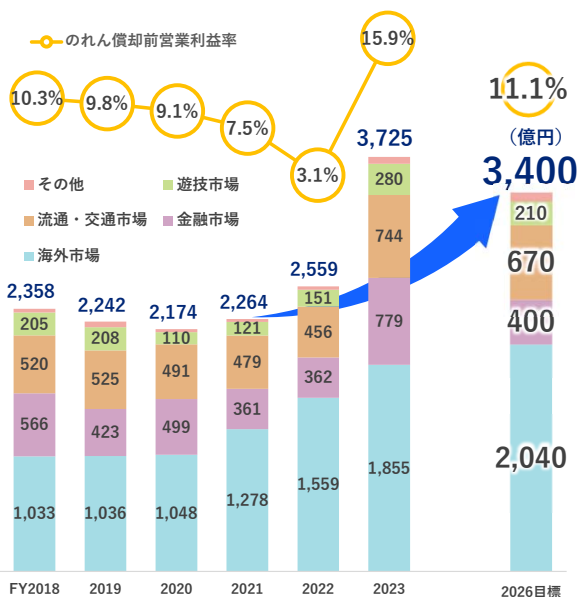
利益については、将来の国際会計基準「IFRS」導入を見据え、のれん償却前利益をベース

効率的に利益を稼ぐ指標として、ROE 10%以上、ROIC 8%以上、ROA 5%以上を掲げ、持続的な企業価値向上に取り組む。

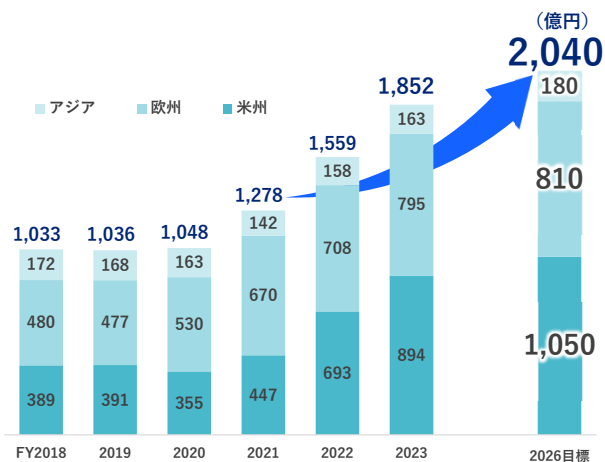
営業利益は380億円以上、売上高は3,400億円以上、売上高の内、新領域事業で600億円以上が目標。

新紙幣発行に伴う特需による一時的な反動減は避けられないが、稼ぐ力の回復と着実な事業成長の実現に向け取り組む

のれん償却前営業利益率とセグメント別売上高



海外地域別売上高



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

26

「財務目標」(セグメント別・海外地域別)

(海外)

成長ドライバーは海外

リテール市場を中心に成長が続く見通しで、2023年度比200億円近い増収を目指す

特に重点地域である米州に注力しグローバルリテラーとの取引拡大に取り組む

(国内)

金融市場は更新需要を確実に捉え収益性を維持。

流通・交通市場はセルフ型製品の拡販やコンビニエンスストア・ドラッグストアといった業態へ顧客の裾野を

広げる事により、成長を図る

PBR1.0倍以上を早期に実現する

ROE・ROIC・ROAの改善

事業の成長加速

- ・ 新たな収益源の獲得
- ・ コア事業の収益拡大

負債・資本構成の最適化

- ・ 資産効率の向上
- ・ 適切な自己資本比率

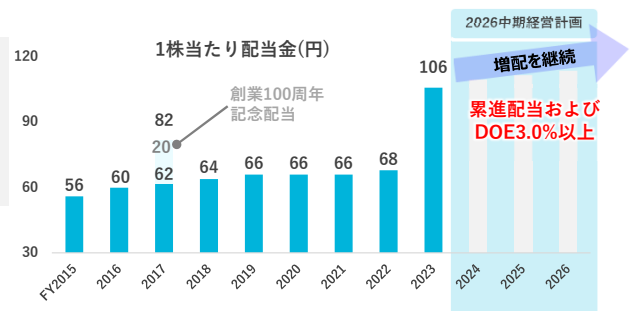
利益率向上及び キャッシュ創出力強化

- ・ DX・AIを活用した生産性向上
- ・ 安定したキャッシュ創出

バランスを考慮した成長投資と株主還元の実施

- ・ 成長投資の継続的な実施
- ・ 累進配当および株主資本配当率(DOE)3.0%以上
- ・ 機動的な株主還元施策

- ・ 非財務目標に対する取組みと開示の充実
- ・ 投資家との継続的な対話による事業戦略の浸透



「企業価値向上への取り組み」

財務目標の達成に加え、負債・資本構成の最適化、生産性向上やキャッシュ創出力強化により、ROE・ROIC・ROAを改善

また、バランスを考慮して成長投資や株主還元の充実に取り組む

特に株主還元については、2023年度の配当額を基準とした累進配当、および株主資本配当率(DOE) 3%以上を配当方針に掲げ、継続的な増配による株主還元の強化を図る

近年社会的な要請が高まっている非財務目標への取り組みや開示の強化、投資家の皆さまとのエンゲージメント向上にも注力

最重要マテリアリティと基本方針

サステナビリティにおける最重要マテリアリティを踏まえ、2026中期経営計画で取り組むべき基本方針を策定

最重要マテリアリティ

新しい価値の創造	社会のニーズに合った製品・ソリューションの提供
環境	温室効果ガス排出量の削減
社会	事業戦略に資する人材の確保・育成
	人権の尊重
ガバナンス	コンプライアンス経営の推進
	顧客プライバシー、情報セキュリティの確保

2026中期経営計画の取組み

事業戦略	基本方針Ⅰ 新たな収益源の獲得
	基本方針Ⅱ コア事業の収益拡大
経営基盤	基本方針Ⅲ 経営マネジメントの強化
	DX戦略
	人材戦略
	資本・財務戦略
	気候変動に対する取組み
	基本方針Ⅳ リスクマネジメントの強化

「最重要マテリアリティと基本方針」

ESGの各側面において設定したご覧のマテリアリティを踏まえ、2026中計では4つの基本方針を掲げる基本方針の具体的な中身については次ページ以降で説明

	基本方針	重点実施事項	ソリューション/プラットフォーム								
事業戦略	I 新たな収益源の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 注力事業（KIOSK関連事業・DMP事業）の収益化 製品とプラットフォームの融合による新たなソリューションの創出 									
	II コア事業の収益拡大	<ul style="list-style-type: none"> セルフ化ニーズを捉えた製品・サービスの投入 大口更新商談の確実な獲得 米州販売体制の強化 									
経営基盤戦略	III 経営マネジメントの強化	<table border="1"> <tr> <td>DX戦略</td> <td>・DX基盤の構築による業務プロセスの革新とDXビジネスの創出</td> </tr> <tr> <td>人材戦略</td> <td>・社員エンゲージメントの向上及び人的資本の充実による競争力強化</td> </tr> <tr> <td>資本財務戦略</td> <td>・機動的な成長投資と安定的な株主還元の実現</td> </tr> <tr> <td>気候変動に対する取組み</td> <td>・SBTに準拠したCO₂削減目標への取り組み強化</td> </tr> </table>	DX戦略	・DX基盤の構築による業務プロセスの革新とDXビジネスの創出	人材戦略	・社員エンゲージメントの向上及び人的資本の充実による競争力強化	資本財務戦略	・機動的な成長投資と安定的な株主還元の実現	気候変動に対する取組み	・SBTに準拠したCO ₂ 削減目標への取り組み強化	
	DX戦略	・DX基盤の構築による業務プロセスの革新とDXビジネスの創出									
人材戦略	・社員エンゲージメントの向上及び人的資本の充実による競争力強化										
資本財務戦略	・機動的な成長投資と安定的な株主還元の実現										
気候変動に対する取組み	・SBTに準拠したCO ₂ 削減目標への取り組み強化										
IV リスクマネジメントの強化	・対応すべきリスクの特定と対応策の確立										

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

29

「基本方針／重点実施事項」

事業戦略に関わる基本方針

1. 新たな収益源の獲得

2. コア事業の収益拡大

「新たな収益源の獲得」では、2023中計期間中に展開したKIOSK関連事業やDMP事業を早期に収益化し新たな収益源としての確立を目指す。

また、アクレック社のレッドビスケット、フルイド社のユニファイド・コマース・プラットフォームといったソフトウェアプラットフォームと製品の融合を進め、新たなソリューションを創出

「コア事業の収益拡大」については、セルフ化ニーズを捉えた製品・サービスの投入、大口商談の獲得、重点地域である米州での販売体制強化などにより、コア事業のよりいっそうの高収益化を図る

経営基盤強化においては、「経営マネジメントの強化」として、

DX・人材・資本財務の各戦略を推進するとともに気候変動に対する取り組みも強化し、CO₂削減目標の達成を目指す。また、リスクマネジメントの強化として、サプライチェーン、情報セキュリティ、コンプライアンスといったリスクへ対応

2026中期経営計画における変革ポイント



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

30

「3つの変革ポイント」

1つ目は、重点指標の変革として、売上高から利益重視の事業運営へのシフト
 ポートフォリオマネジメントやROICといった指標を活用し、資本コストを意識して、事業毎に適切な利益を生み出すための運営を徹底

2つ目は事業の柱の変革
 これまでのリテール市場・金融市場に加えて、飲食市場を大きな柱として設定
 飲食市場は当社事業との親和性が高く、顧客のすそ野が広く大きなビジネスチャンスがある

3つ目の事業モデルの変革では、通貨処理事業にDXビジネスモデルを追加
 通貨処理機の稼働状況をインターネットを経由して可視化し、デジタルビジネスにつなげるコネクテッドマシン
 スマホを使った飲食店でのオーダーシステム、機動的な表示変更が可能なデジタルメニューボードなど、
 様々なDXビジネスを推進

注力3市場と会計セグメントとの関連

事業戦略上の注力市場を設定

注力3市場



会計セグメント			リテール	金融	飲食
セグメント	主な取引先	2026年度 売上高目標	1,600 億円	1,100 億円	410 億円
海外市場	海外の金融機関 小売店、飲食店など	2,040 億円	○ 1,000 億円	○ 700 億円	○ 340 億円
金融市場	国内の金融機関など	400 億円	—	○ 400 億円	—
流通・交通 市場	国内のスーパー、コンビニ、 飲食店、病院、鉄道など	670 億円	○ 600 億円	—	○ 70 億円
遊技市場	国内の遊技場 (パチンコホールなど)	210 億円	—	—	—
その他	上記報告セグメントに 属さない販売、及び保守先	80 億円	—	—	—
3,400 億円					

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

31

「注力3市場と会計セグメントの関係性」

- ・リテール売上高目標 1,600億円 (海外市場1,000億円、流通・交通市場600億円)
- ・金融売上高目標 1,100億円 (海外市場700億円、金融市場400億円)
- ・飲食売上高目標 410億円 (海外市場340億円、流通・交通市場70億円)

注力3市場



注力市場における当社事業の成長ステージを明確にした上で事業戦略を実行する

注力市場における当社事業の成長ステージ

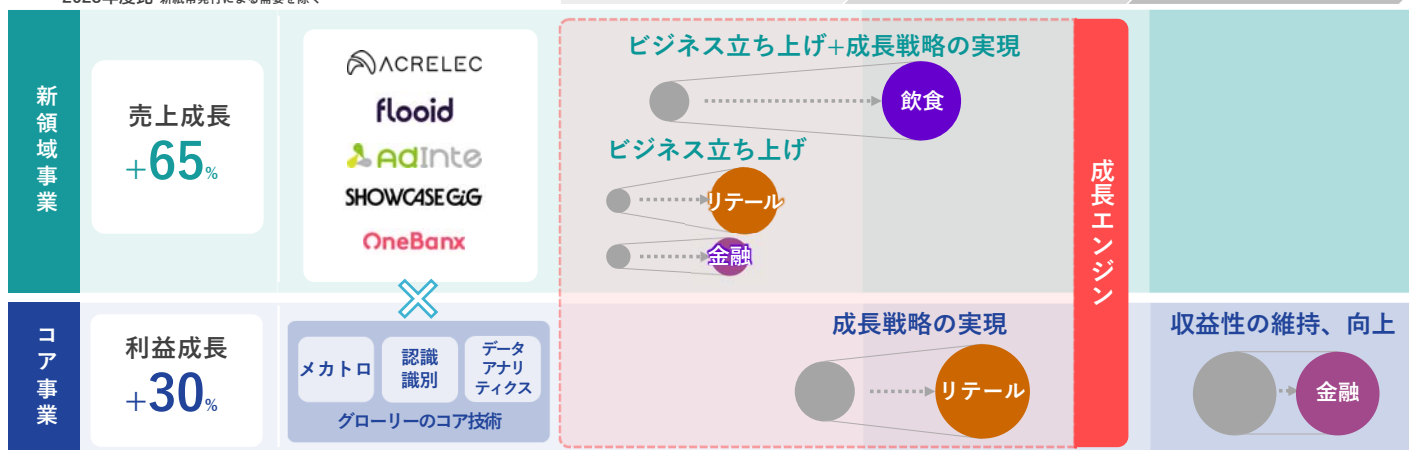
導入期

成長期

成熟期

目標指標

2023年度比*新紙幣発行による需要を除く



: 2023年度時点 *新紙幣発行による需要を除く ●●● : 2026年度計画 円の大きさ：売上の大きさ

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

32

「注力3市場の事業戦略」

注力3市場においてはそれぞれの成長ステージを明確にし、事業戦略を実行

新領域事業では、飲食が導入期から成長期に入ることを見込む

また、リテール、金融は導入期に位置付け、着実なビジネスの立ち上げを行う

コア事業では、リテールが成長期に入り更なる事業拡大を見込む

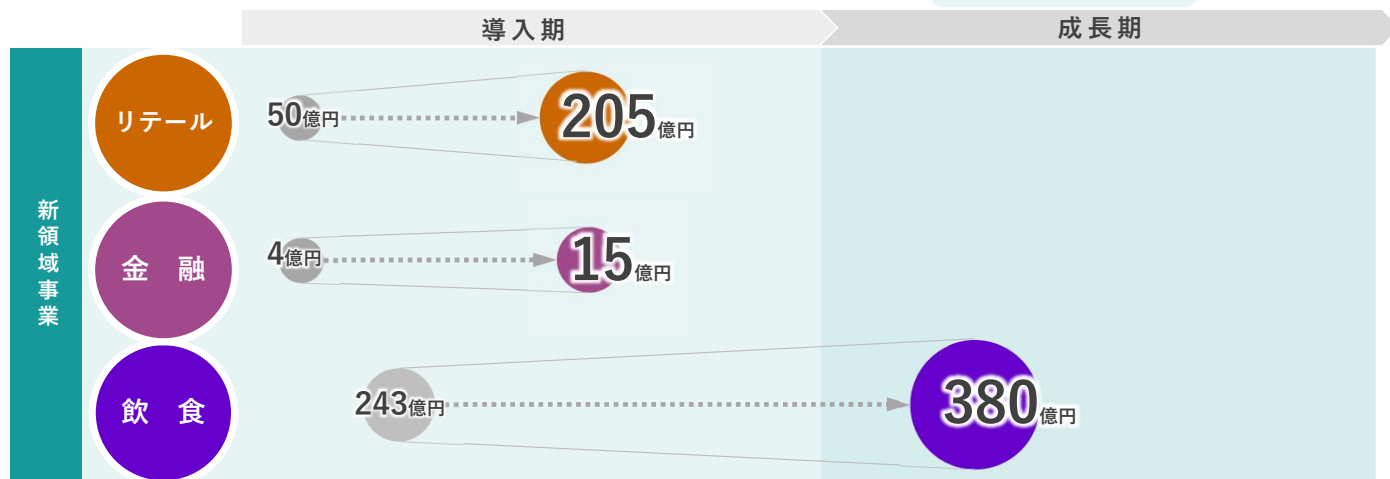
これら4つの事業を当社の成長エンジンとして取り組む

成熟期に入っているコア事業の金融は銀行の支店減少など厳しい経営環境が続くが、更新需要の獲得や保守収益モデルの拡大により収益性の維持、向上に努める

注力3市場を定め、新領域事業の収益化を加速する

売上高目標
2026年度
600億円

● : 2023年度時点売上 ●●● : 2026年度目標売上



「新領域事業売上高目標」

新領域事業全体の売上目標は600億円

- ・リテールは205億円までの成長を見込む
- ・金融は15億円程度を目指す
- ・新領域事業の中心となる飲食では、380億円まで売上が拡大する見通し

事業戦略（海外）

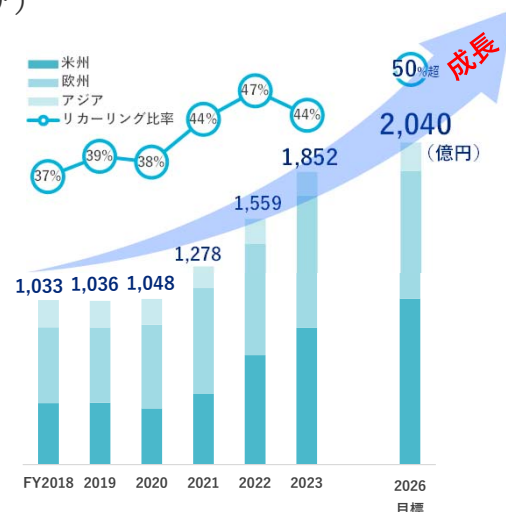
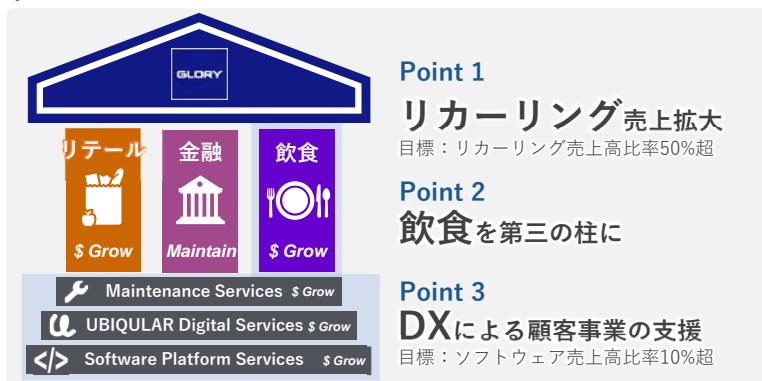
事業目標

2026年度
売上高 **2,040** 億円
2023年度比較
+188 億円

海外

基本方針

1. 収益構造 リカーリング売上の拡大（保守+ソフトウェア）
2. 事業構造 リテール、金融に加え「飲食」を第3の柱へ
3. ソリューション 顧客のコスト削減に加え、売上貢献へ



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

34

「海外事業戦略」

・2026年度売上高目標 **2,040** 億円（2023年度比 +188 億円）

海外では、保守やソフトウェア使用料といったリカーリング売上の拡大による収益構造の変革、飲食市場の確立による事業構造の変革、顧客のDX支援によるソフトウェア売上の拡大が3つを基本方針に掲げる

事業戦略（海外注力3市場）

海外

2026年度

①
リテール

売上高目標

1,000 億円

内、新領域事業売上高

150 億円

【ソリューション】



【プラットフォーム】



新領域事業

●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

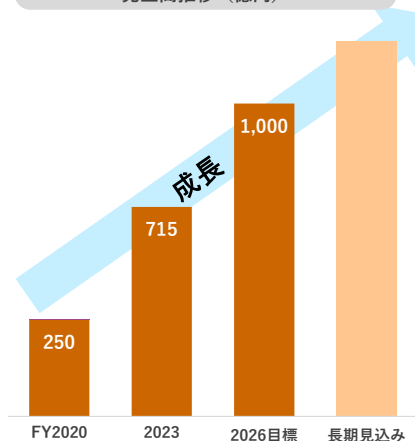
- ・遠隔監視サービス「UBIQULAR」の販売強化によるリカーリング売上の拡大
- ・小売業向けクラウドソリューション「Unified Commerce Platform」の拡販
- ・無人決済店舗サポートソリューションの創出

コア事業

●方針 [新たな機会の獲得による事業成長の実現]

- ・新型セルフ機の販売強化
- ・重点地域の米州における事業強化（製品拡販・リプレース、保守の効率化 etc）
- ・グローバルリテラーTOP50 (Tier1)への展開

売上高推移（億円）



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

35

「海外注力3市場 事業戦略（リテール）」

・2026年度売上高目標 1,000億円（内 新領域事業売上高150億円）

（海外リテール：新領域事業）

遠隔監視サービス「UBIQULAR」や小売業向けクラウドソリューションの「Unified Commerce Platform」の販売強化により、リカーリング売上を拡大。

また、無人決済店舗サポートソリューションの創出にも取り組む

（海外リテール：コア事業）

新型セルフ機の販売強化、重点地域である米州における製品拡販、保守事業の効率化などの事業強化、グローバルトップリテラー上位50社との取引拡大により事業成長を図る

事業戦略（海外注力3市場）

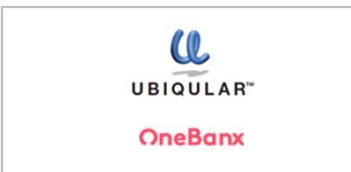
② 金融

海外
2026年度
売上高目標 **700** 億円
内、新領域事業売上高 **10** 億円

【ソリューション】



【プラットフォーム】



新領域事業

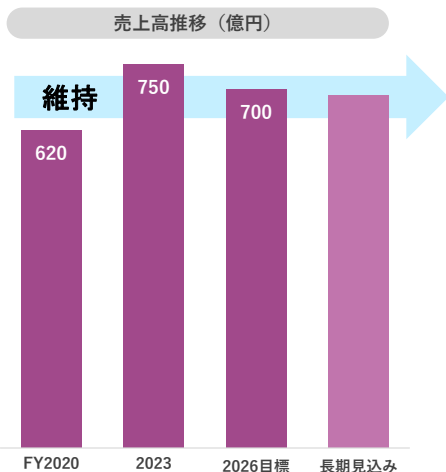
●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

- ・遠隔監視サービス「UBIQULAR」の販売強化によるリカーリング売上の拡大
- ・金融シェアードサービスの収益化

コア事業

●方針 [利益の拡大]

- ・新製品による旧機種リプレースとシェア拡大
- ・セルフ機の販売強化
- ・紙幣入出金機（TCR）未導入国への展開
- ・大口案件の獲得



「海外注力3市場 事業戦略（金融）」

・2026年度売上高目標 **700** 億円（内 新領域事業売上高 **10** 億円）

（海外金融：新領域事業）

金融市場では、リテール同様に、遠隔監視サービス「UBIQULAR」の販売強化によるリカーリング売上の拡大や、金融サービスへのアクセスポイントの確保など、社会課題の解決にも寄与する金融シェアードサービスの収益化に取り組む

（海外金融：コア事業）

新製品による旧機種のリプレース、大口案件の獲得、紙幣入出金機未導入国への展開などを通じて収益維持を図る

事業戦略（海外注力3市場）

③
飲食

海外

売上高目標

340 億円

内、新領域事業売上高

340 億円

【ソリューション】



【プラットフォーム】

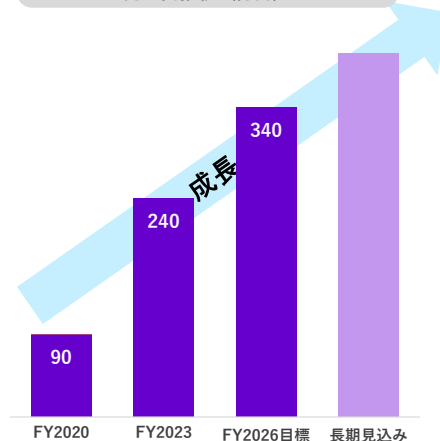


新領域事業

●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

- ・重点国（米国、日本）におけるKIOSKの販売強化
- ・セルフチェックアウトシステム（現金処理機+KIOSK）の販売拡大
- ・新たな店舗向けソリューション「Red Biscuit」による大手F&Bの開拓（Tier1）
- ・標準パッケージングソリューションの拡販（Tier2-3）

売上高推移（億円）



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

37

「海外注力3市場 事業戦略（飲食）」

・2026年度売上高目標 340億円（内 新領域事業売上高340億円）

（海外飲食：新領域事業）

重点国である米国、日本でのセルフサービスKIOSKの販売強化、現金処理機とKIOSKを融合したハイブリッド型のセルフチェックアウトシステムの販売拡大による顧客の業務効率向上に取り組む
また、ソフトウェアプラットフォームである「Red Biscuit」による大手飲食業の開拓、及び「Red Biscuit」の機能を絞った標準パッケージによる中規模の飲食業への販売強化も行う

事業戦略（国内）

事業目標

2026年度
売上高 **1,360** 億円

2023年度比較
-505 億円

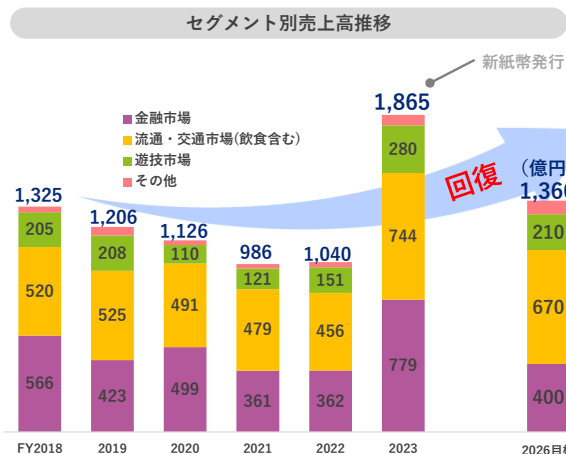
2023年度
改刷関連売上高
500 億円

国内

基本方針

1. コア事業の利益額の最大化（ROIC経営の浸透）
2. リテールおよび飲食の成長
3. 顧客基盤をフル活用したDXビジネスの拡大

- Point 1 「セルフ化」をキーワードにした
新たなソリューション創出
- Point 2 戦略的ターゲット層への**販売拡大**
- Point 3 プラットフォーム含めた
トータル提案の実施
- Point 4 海外飲食ソリューションの**日本展開**



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

38

「国内事業戦略」

・2026年度売上高目標 **1,360億円**（2023年度比 -505億円）

国内では、資本コストを意識したROIC経営の浸透によるコア事業の利益最大化、リテールおよび飲食事業の成長、既存の顧客基盤を活用したDXビジネスの拡大を基本方針に掲げる

セルフ型製品・サービスの提供やこれまで築いてきた強固な顧客基盤を活用した販売戦略の実施、KIOSKなどの海外飲食ソリューションの日本導入などにより収益の拡大を図る

事業戦略（国内注力3市場）



新領域事業

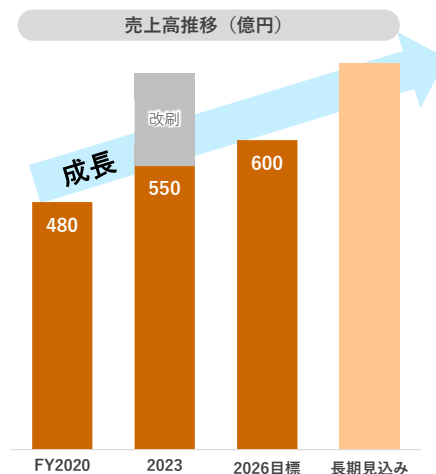
●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

- ・前中計期間中にリリースしたソフトウェアソリューションの収益化
- ・店舗のDX化を推進する新たなソリューションの創出
 - －セルフ化に伴う不正リスクを低減するソリューション
 - －無人店舗サポートソリューション など

コア事業

●方針 [新たな機会の獲得による事業成長の実現]

- ・新型セルフ機のリリースによるレジつり銭機のシェア拡大
- ・コンビニやドラッグストアなどへの展開拡大



「国内注力3市場 事業戦略（リテール）」

・2026年度売上高目標 600億円（内 新領域事業売上高55億円）

（国内リテール：新領域事業）

遠隔操作支援サービス「RURA」や小売業向け業務支援サービス「Shoppers Cloud」などの収益化、店舗DXを推進する新たなソリューションの創出などに取り組む

（国内リテール：コア事業）

新型セルフ機のリリースによるシェア拡大、コンビニエンスストアやドラッグストアなどへの展開拡大により事業成長を実現

事業戦略（国内注力3市場）

② 金融

国内
2026年度
売上高目標 **400** 億円
内、新領域事業売上高 **5** 億円

【ソリューション】



【プラットフォーム】



新領域事業

●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

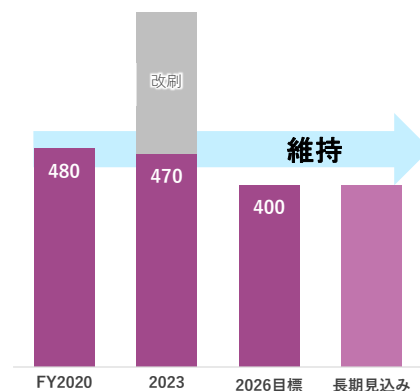
- ・前中計期間中にリリースしたソリューションの収益化
- ・次世代店舗構想の提案強化
- ・店舗監視サービスなど新しいソリューションの確立

コア事業

●方針 [利益の拡大]

- ・大口商談の確実な獲得
- ・保守収益モデルの維持・拡大
- ・改刷改造機の確実な更新

売上高推移（億円）



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

40

「国内注力3市場 事業戦略（金融）」

・2026年度売上高目標 400億円（内 新領域事業売上高5億円）

（国内金融：新領域事業）

新領域事業として、2023中期経営計画でリリースしたソリューションの収益化、セルフ化による少人数での店舗運営を可能にする次世代店舗の提案強化、店舗監視サービスなどの新ソリューションの確立などに取り組む

（国内金融：コア事業）

大口案件の獲得、保守収益モデルの維持・拡大、改刷で改造を行った製品の確実な更新などにより利益拡大を図る

事業戦略（国内注力3市場）

③ 飲食

国内
 売上高目標 **70** 億円
 内、新領域事業売上高 **40** 億円

【ソリューション】



【プラットフォーム】

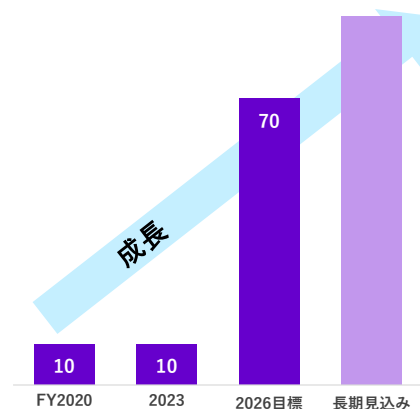


新領域事業

●方針 [注力事業の収益化の加速と新領域事業の創出]

- ・大手飲食チェーンへの展開継続
- ・TOFREEソリューションの展開
- ・Showcase Gig社との協業強化などによるプラットフォームとのトータル提案の推進
- ・セルフサービスKIOSKの販売拡大

売上高推移（億円）



「国内注力3市場 事業戦略（飲食）」

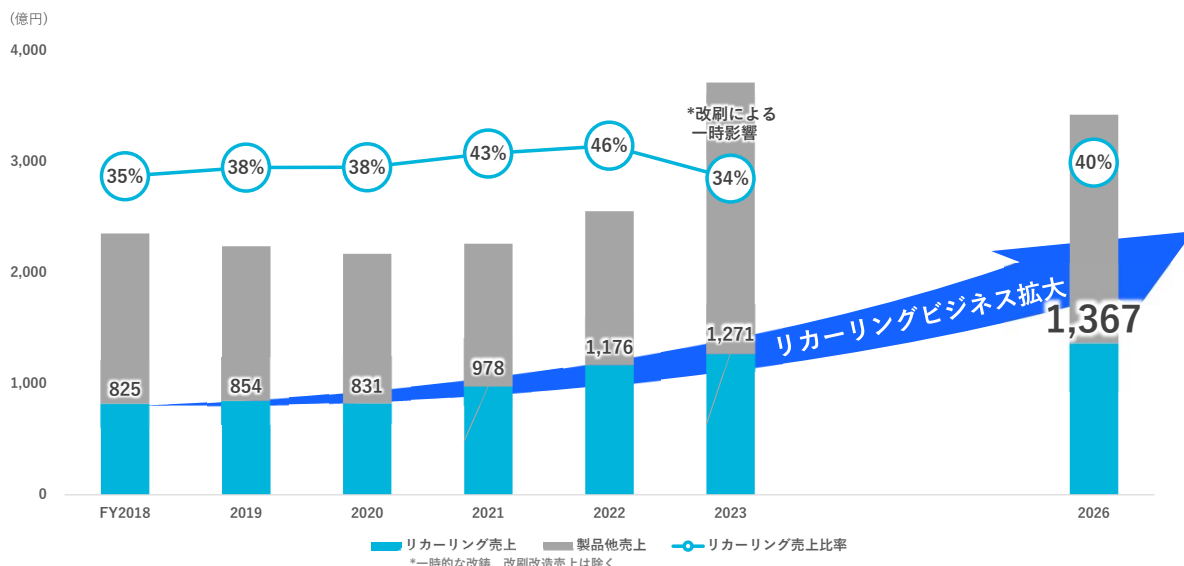
・2026年度売上高目標 **70** 億円（内 新領域事業売上高 **40** 億円）

（国内飲食：新領域事業）

大手飲食チェーンへの展開、特に次世代型飲食ビジネスソリューション「TOFREE」の展開拡大を目指す
 また、Showcase Gig社との協業強化やアクレック社のセルフサービスKIOSK、ドライブスルーシステムの国内販売を拡大

事業戦略（リカーリングビジネス）

保守を中心としたコア事業のリカーリングビジネスに加え、プラットフォーム関連事業などの新領域事業におけるリカーリングビジネスを充実させ、経営基盤の強化を図る



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

42

「国内外共通事業戦略（リカーリングビジネス）」

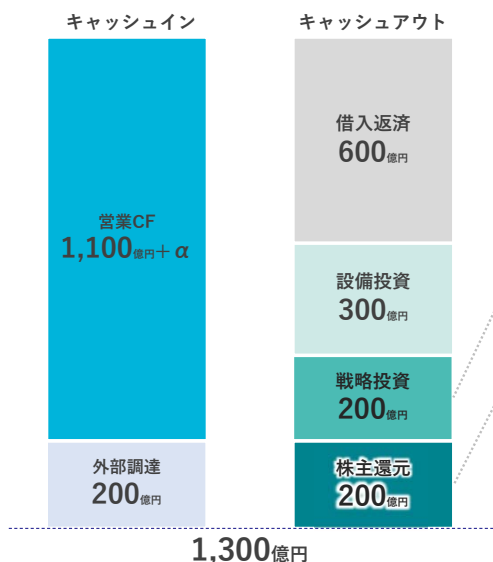
2023年度は改刷対応により一時的に構成比率が下がりましたが、近年リカーリングビジネスの割合が拡大傾向。

今後も保守に加えて、ソフトウェアプラットフォーム関連事業などの新領域事業におけるリカーリングビジネスの売上拡大により経営基盤の強化を図る

経営基盤戦略（資本財務戦略）

財務健全性を確保したうえで、機動的な成長投資と安定的な株主還元を実現する

キャッシュアロケーション



1. 健全性確保 信用格付A格を維持する

自己資本比率 50%程度

D/Eレシオ 0.6以下

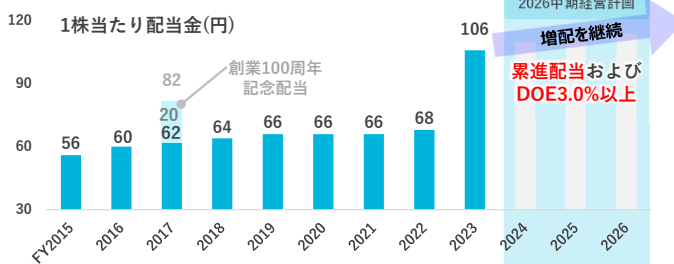
2. 戦略投資

新領域事業への機動的な戦略投資（M&A等）とDX基盤整備やコア事業の生産性向上に向けた投資を実施する

3. 株主還元

配当方針 : ①累進配当および
(2026中期経営計画期間内) ②株主資本配当率(DOE)3.0%以上を基本方針とする

自己株式の取得：経営状況を踏まえ、機動的に実施する



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

43

「資本・財務戦略」

機動的な成長投資と安定的な株主還元を支えるキャッシュ創出力の強化に取り組む

信用格付 A 格を維持するための健全性指標に留意しつつ機動的な戦略投資の実行、及び株主還元を行う

株主還元については、2023年度の配当額を基準とした累進配当、および株主資本配当率（DOE）3%以上を配当方針に掲げ、安定的かつ継続的な増配による還元強化を図る

2025年3月期

4

通期業績予想

「2025年3月期 通期業績予想」

説明者：代表取締役社長 原田 明浩

2025年3月期 通期業績予想

売上高

海外市場は、米国を中心に金融、リテール市場ともに販売増の見通し
国内市場は、新紙幣発行対応の反動により減収となるが、セルフ型製品・サービスの需要は堅調に推移する見込み

営業利益

売上高の減少等により減益を見込むが、コロナ前の利益水準を上回る見通し

(百万円)	通期						前期比
	2023年3月期	売上高 比率	2024年3月期	売上高 比率	2025年3月期予想	売上高 比率	
売上高	255,857	100.0%	372,478	100.0%	330,000	100.0%	-42,478 -11.4%
保守売上高	100,793	39.4%	140,633	37.8%	102,000	30.9%	-38,633 -27.5%
営業利益	522	0.2%	51,276	13.8%	22,000	6.7%	-29,276 -57.1%
経常利益	-2,720	-1.1%	48,438	13.0%	19,000	5.8%	-29,438 -60.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-9,538	-3.7%	29,674	8.0%	10,000	3.0%	-19,674 -66.3%
※ EBITDA	18,988	18.8%	72,217	51.4%	43,800	42.9%	-28,417 -39.3%
為替 レート	ドル	135 円	145 円	140 円			
	ユーロ	141 円	157 円	150 円			

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

45

「2025年3月期 通期業績予想」

新紙幣発行に伴う製品更新及び改造作業件数の減少や円安による影響などを予想

・売上高は **3,300億円 (前期比 -424億7,800万円)**

・営業利益は **220億円 (前期比 -292億7,600万円)**

・経常利益は **190億円 (前期比 -294億1,500万円)**

・親会社株主に帰属する当期純利益は **100億円 (前期比 -197億600万円)**

(売上高)

海外市場では、米国を中心としたリテール市場の成長により、増収増益を見込む

国内市場では、紙幣発行に伴い増加した需要の反動減などにより減収減益となる見込み

(営業利益)

改刷効果を除くとコロナ前の水準を上回る見通しで、利益率は改善傾向

(想定為替レート)

・ドル 140円

・ユーロ 150円

2025年3月期 通期業績予想 セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高				営業利益			
	通期			前期比	通期			前期比
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 予想		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 予想	
海外市場	155,902	185,239	192,000	+6,761 +3.6 %	436	6,645	9,000	+2,355 +35.4 %
金融市場	36,248	78,422	50,000	-28,422 -36.2 %	152	24,179	5,000	-19,179 -79.3 %
流通・交通市場	45,595	74,774	56,000	-18,774 -25.1 %	-571	10,593	2,500	-8,093 -76.4 %
遊技市場	15,139	28,201	25,000	-3,201 -11.4 %	1,624	10,030	6,500	-3,530 -35.2 %
その他	2,971	5,840	7,000	+1,160 +19.9 %	-1,118	-173	-1,000	-827 - %
合計	255,857	372,478	330,000	-42,478 -11.4 %	522	51,276	22,000	-29,276 -57.1 %

- 海外市場** 金融、リテール、飲食の各市場での大型案件の獲得などにより増収増益を見込む
- 金融市場** 大口商談の獲得により、新紙幣発行に関する販売の反動減は最小範囲に収まる見通し
- 流通・交通市場** 新紙幣発行に関する需要への対応継続、及びセルフ型製品の販売拡大により反動減の緩和に努める
- 遊技市場** スマート遊技機向けカードシステムの需要が継続するものの、販売価格は緩やかに低下する見通し

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

46

「セグメント別業績予想」

(海外市場) 欧米リテール市場での大型案件の獲得などにより増収増益を見込む

・売上高 **1,920億円 (前期比 +67億6,100万円)**

・営業利益 **90億円 (前期比 +23億5,500万円)**

のれん償却費は、年間約100億円程度と見込み、のれん償却前営業利益は約190億円を予想

(金融市場) 新紙幣発行に伴う売上高減少の影響はあるものの、大口商談の獲得を見込む

・売上高 **500億円 (前期比 -284億2,200万円)**

・営業利益 **50億円 (前期比 -191億7,900万円)**

(流通・交通市場) 新紙幣発行に伴う売上高減少の影響はあるが、セルフ型製品・サービスの需要を見込む

・売上高 **560億円 (前期比 -187億7,400万円)**

・営業利益 **25億円 (前期比 -80億9,300万円)**

(遊技市場) スマート遊技機向けカードユニットの需要は継続する一方、販売価格が緩やかに低下する見通し

・売上高は**250億円 (前期比 -32億100万円)**

・営業利益 **65億円 (前期比 -35億3,000万円)**

海外地域別売上高予想



Confidence Enabled
人と社が育む持続的な成長への

(百万円)	通期			前期比	米ドルベース
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想		
米州	69,336	89,419	95,000	+5,581 +6.2%	+9.8%
内 Acrelec	3,050	4,932	5,600	+668 +13.5%	17.3%
内 Flooid	-	1,017	5,700	+4,683 +460.5%	479.0%
欧州	70,758	79,489	81,000	+1,511 +1.9%	+5.3%
内 Acrelec	18,663	23,369	20,500	-2,869 -12.3%	-9.4%
内 Flooid	-	939	5,300	+4,361 +464.4%	483.1%
アジア	15,806	16,330	16,000	-330 -2.0%	+1.2%
内 Acrelec	751	1,615	2,000	+385 +23.8%	+27.9%
合計	155,902	185,239	192,000	+6,761 +3.6%	+7.1%
内 Acrelec	22,464	29,916	28,100	-1,816 -6.1%	-3.0%
内 Flooid	-	1,956	11,000	+9,044 +462.4%	+442.2%

- 米州** リテール市場での大口更新案件の獲得を見込む
- 欧州** 金融・リテール市場で新製品への置き換えを見込む
- アジア** 主要国のリテール・飲食市場で販売増を見込む



百万円	通期			前期比
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	22,464	29,916	28,100	-1,816
米州	3,050	4,932	5,600	+668
欧州	18,663	23,369	20,500	-2,869
アジア	751	1,615	2,000	+385
営業利益	-1,326	1,000	1,200	+200
利益	-2,122	230	450	+220

大手飲食チェーン向け商談の獲得と事業体制の強化による販売増を見込む

Flooid社 2024年度売上高予想
米州 57億円
欧州 53億円
合計 110億円

※2023年3月期より以下の通り開示内容を変更しています。
 ①地域別売上高の中にOEM売上高を含めています。(過去2年遡及修正)
 ②アジアの中に中国を含めています。

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

47

「海外の地域別売上高予想」

海外では欧米におけるリテール市場の販売拡大を見込む

- 米州 950億円 (前期比+55億8,100万円)**
- 欧州 810億円 (前期比+15億1,100万円)**
- アジア 160億円 (前期比-3億3,000万円)** 金融市場の販売が厳しい見込み

(Acrelec社)

欧州での大口案件が落ち着くことを見込む

- 売上高 285億円 (前期比-14億1,600万円)**

(Flooid社) 2024年1月に買収

- 売上高 110億円 (米州57億、欧州53億円)**

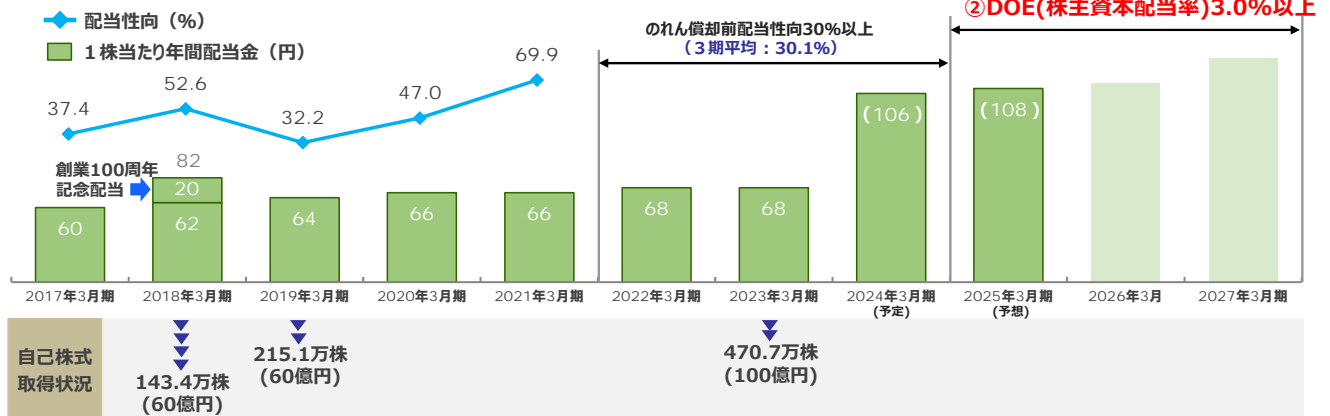
株主還元について

配当方針 2026中計期間内の累進配当、及びDOE(株主資本配当率)3.0%以上を基本方針とする

2025年3月期年間配当(予想) **108円** (中間配当54円、期末配当54円)

自己株式の取得 今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、業績動向等を総合的に勘案し、適切な対応を検討

年間配当金・配当性向・自己株式取得の推移



連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

48

「株主還元」

(2026中期経営計画の3事業年度(2025年3期から2027年3月期)配当方針)

「2024年3月期の年間配当金を基準とした累進配当及び株主資本配当率(DOE) 3%以上」と定め、安定的・継続的な増配を目指す

(2025年3月期の年間配当予想)

・ 1株につき108円(中間配当54円、期末配当54円)

自己株式の取得については、今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、業績動向等を総合的に勘案し、適切な対応を検討

以上で説明を終わらせていただきます

参考資料

2024年3月期 通期 損益計算書・包括利益計算書



Confidence Enabled
人と社会が育たな継続の成長へ

(百万円)	通 期						増減
	2022年3月期	売上高比率	2023年3月期	売上高比率	2024年3月期	売上高比率	
売上高	226,562	100.0%	255,857	100.0%	372,478	100.0%	+116,621
売上原価	136,800	60.4%	164,630	64.3%	209,892	56.4%	+45,262
販売費及び一般管理費	75,966	33.5%	90,704	35.5%	111,308	29.9%	+20,604
営業利益	10,195	4.5%	522	0.2%	51,276	13.8%	+50,754
営業外収益	1,429	0.6%	2,286	0.9%	1,460	0.4%	-826
営業外費用	1,219	0.5%	5,529	2.2%	4,298	1.2%	-1,231
経常利益	10,404	4.6%	-2,720	-	48,438	13.0%	+51,158
特別利益	4,752	2.1%	63	0.0%	257	0.1%	+194
特別損失	1,476	0.7%	4,004	1.6%	1,881	0.5%	-2,123
税金等調整前当期純利益	13,680	6.0%	-6,661	-	46,814	12.6%	+53,475
法人税等	6,235	2.8%	2,087	0.8%	16,545	4.4%	+14,458
当期純利益	7,444	3.3%	-8,748	-3.4%	30,268	8.1%	+39,016
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,410	2.8%	-9,538	-	29,674	8.0%	+39,212
当期純利益	7,444	3.3%	-8,748	-	30,268	8.1%	+39,016
その他有価証券評価差額金	-9		706		1,382		+676
為替換算調整勘定	9,128		8,885		14,816		+5,931
退職給付に係る調整額	5,264		2,537		5,585		+3,048
その他の包括利益合計	10,064	4.4%	12,111	4.7%	21,793	5.9%	+9,682
包括利益	17,509	7.7%	3,362	1.3%	52,061	14.0%	+48,699

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

50

2024年3月期 通期 貸借対照表



Confidence Enabled
人と社会の両方の成長を創る

(百万円)	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	増 減	(百万円)	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	増 減
現金・有価証券	32,632	37,586	35,224	-2,362	買掛債務	23,121	25,473	27,540	+2,067
売掛債権	51,920	59,787	90,055	+30,268	短期借入金	53,116	47,104	43,958	-3,146
棚卸し資産	96,855	94,998	111,067	+16,069	その他	51,185	66,924	89,585	+22,661
その他	10,683	11,106	7,101	-4,005	流動負債合計	127,422	139,501	161,083	+21,582
流動資産合計	192,090	203,477	243,447	+39,970	長期借入金	12,713	12,055	37,040	+24,985
有形固定資産	41,857	42,517	46,182	+3,665	その他	33,378	33,732	40,203	+6,471
顧客関係資産	26,798	26,428	26,838	+410	固定負債合計	46,091	45,787	77,243	+31,456
のれん	56,575	55,528	84,171	+28,643	負債合計	173,513	185,288	238,326	+53,038
その他	11,634	9,769	8,064	-1,705	資本金	12,892	12,892	12,892	0
無形固定資産	95,007	91,725	119,073	+27,348	利益剰余金	157,731	141,522	167,088	+25,566
投資その他の資産	40,881	43,552	58,369	+14,817	その他	25,700	41,570	48,766	+7,196
固定資産合計	177,745	177,795	223,625	+45,830	純資産合計	196,323	195,984	228,746	+32,762
資産合計	369,836	381,273	467,072	+85,799	負債純資産合計	369,836	381,273	467,072	+85,799

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

51

2024年3月期 通期 キャッシュ・フロー計算書



Confidence Enabled
人と社会の持続可能な発展へ

(百万円)	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	10,315	-16,486	41,854	+58,340
投資活動によるキャッシュフロー	-25,739	-9,364	-33,577	-24,213
財務活動によるキャッシュフロー	-942	8,526	-13,957	-22,483
現金及び現金同等物の増減額	-13,800	-15,622	-3,498	+12,124
フリーキャッシュフロー	-15,424	-25,850	8,277	+34,127

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

52

2024年3月期 通期 セグメント別売上高・営業利益（予想比）



Confidence Enabled
人と社会の可能性を無限に開く。

（百万円）	売上高			営業利益		
	2024年3月期 通期		予想比	2024年3月期 通期		予想比
	予想	実績		予想	実績	
海外市場	180,000	185,239	+5,239 +2.9 %	6,500	6,645	+145 +2.2 %
金融市場	77,000	78,422	+1,422 +1.8 %	23,000	24,179	+1,179 +5.1 %
流通・交通市場	74,000	74,774	+774 +1.0 %	9,500	10,593	+1,093 +11.5 %
遊技市場	28,000	28,201	+201 +0.7 %	9,500	10,030	+530 +5.6 %
その他	6,000	5,840	-160 -2.7 %	-500	-173	+327 - %
合計	365,000	372,478	+7,478 +2.0 %	48,000	51,276	+3,276 +6.8 %

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

53

2024年3月期 通期 設備投資他



Confidence Enabled
人と社会が育たぬ未来の創造へ

(百万円)	通期			前期比	四半期毎の推移
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		
設備投資額	11,423	11,064	13,263	+2,199 +19.9 %	<p>FY21 (4Q) FY22 (1Q) FY22 (2Q) FY22 (3Q) FY22 (4Q) FY23 (1Q) FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q)</p>
減価償却費	11,952	11,762	13,380	+1,618 +13.8 %	<p>FY21 (4Q) FY22 (1Q) FY22 (2Q) FY22 (3Q) FY22 (4Q) FY23 (1Q) FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q)</p>
研究開発費	14,743	14,466	19,554	+5,088 +35.2 %	<p>FY21 (4Q) FY22 (1Q) FY22 (2Q) FY22 (3Q) FY22 (4Q) FY23 (1Q) FY23 (2Q) FY23 (3Q) FY23 (4Q)</p>

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

54

2025年3月期 通期業績予想（半期）



Confidence Enabled
人と社会が育む持続的な成長へ

(百万円)	上半期			下半期			通期			前期比
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	112,142	157,839	160,000	143,715	214,639	170,000	255,857	372,478	330,000	-42,478 -11.4%
保守売上高	48,809	63,330	52,000	51,984	77,303	50,000	100,793	140,633	102,000	-38,633 -27.5%
営業利益	-4,711	16,783	11,000	5,233	34,493	11,000	522	51,276	22,000	-29,276 -57.1%
経常利益	-5,359	15,404	9,500	2,639	33,034	9,500	-2,720	48,438	19,000	-29,438 -60.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-6,195	8,308	4,500	-3,343	21,366	5,500	-9,538	29,674	10,000	-19,674 -66.3%
EBITDA	4,477	26,609	21,900	14,511	45,608	21,900	18,988	72,217	43,800	-28,417 -39.3%
為替 レート	ドル 134 円	141 円	140 円	137 円	148 円	140 円	135 円	145 円	140 円	-5 円
	ユーロ 139 円	153 円	150 円	143 円	160 円	150 円	141 円	157 円	150 円	-7 円

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

55

2025年3月期 通期業績予想（半期：セグメント別）



Confidence Enabled
人と技術の両立が実現の鍵

(百万円)	上半期			下半期			通期			前期比
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	
海外市場	69,511 -2,431	79,987 535	85,000 1,500	86,391 2,867	105,252 6,110	107,000 7,500	155,902 436	185,239 6,645	192,000 9,000	+6,761 +2,355
金融市場	15,362 -1,215	30,056 8,341	25,500 3,500	20,886 1,367	48,366 15,838	24,500 1,500	36,248 152	78,422 24,179	50,000 5,000	-28,422 -19,179
流通・交通市場	20,764 -584	31,437 3,594	32,500 2,500	24,831 13	43,337 6,999	23,500 0	45,595 -571	74,774 10,593	56,000 2,500	-18,774 -8,093
遊技市場	5,228 108	13,674 4,606	13,500 4,000	9,911 1,516	14,527 5,424	11,500 2,500	15,139 1,624	28,201 10,030	25,000 6,500	-3,201 -3,530
その他	1,274 -589	2,682 -295	3,500 -500	1,697 -529	3,158 122	3,500 -500	2,971 -1,118	5,840 -173	7,000 -1,000	+1,160 -827
合計	112,142 -4,711	157,839 16,783	160,000 11,000	143,715 5,233	214,639 34,493	170,000 11,000	255,857 522	372,478 51,276	330,000 22,000	-42,478 -29,276

上段：売上高
下段：営業利益

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

56

2025年3月期 通期業績予想（半期：海外地域別）



Confidence Enabled
人と社会が育む持続的な成長へ

(百万円)	上半期			下半期			通期			前期比
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	
米州	29,496	37,951	40,000	39,840	51,468	55,000	69,336	89,419	95,000	+5,581
内 Acrelec	1,052	2,069	2,800	1,998	2,863	2,800	3,050	4,932	5,600	+668
内 Flooid	-	-	2,800	-	1,017	2,900	-	1,017	5,700	+4,683
欧州	32,559	34,622	38,000	38,199	44,867	43,000	70,758	79,489	81,000	+1,511
内 Acrelec	8,393	9,909	10,200	10,270	13,460	10,300	18,663	23,369	20,500	-2,869
内 Flooid	-	-	2,700	-	939	2,600	-	939	5,300	+4,361
アジア	7,455	7,413	7,000	8,351	8,917	9,000	15,806	16,330	16,000	-330
内 Acrelec	398	708	1,000	353	907	1,000	751	1,615	2,000	+385
合計	69,511	79,987	85,000	86,391	105,252	107,000	155,902	185,239	192,000	+6,761
内 Acrelec	9,843	12,687	14,000	12,621	17,229	14,100	22,464	29,916	28,100	-1,816
内 Flooid	-	-	2,800	-	1,956	8,200	-	1,956	11,000	+9,044

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

57

2025年3月期 通期業績予想（設備投資など）



Confidence Enabled
人と社会が育たぬ未来はあり得ない

(百万円)	通期			前期比	半期毎の推移							
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想									
設備投資額	11,064	13,263	11,000	-2,263 -20.6%	4,301	6,763	5,686	7,577	5,000	6,000		
					FY22 1H	FY22 2H	FY23 1H	FY23 2H	FY24 1H (予)	FY24 2H (予)		
減価償却費	11,762	13,380	13,000	-0,380 -2.9%	5,871	5,891	6,346	7,034	6,500	6,500		
					FY22 1H	FY22 2H	FY23 1H	FY23 2H	FY24 1H (予)	FY24 2H (予)		
研究開発費	14,466	19,554	18,000	-1,554 -8.6%	7,070	7,396	8,973	10,581	8,500	9,500		
					FY22 1H	FY22 2H	FY23 1H	FY23 2H	FY24 1H (予)	FY24 2H (予)		

連結業績の概要

連結業績の詳細

2026中期経営計画

2025年3月期 業績予想

参考資料

58

<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。